施策分野		指標	単位	現状値 (H30)	目安値 (R3)	実績値(R3)		外部有識者会議(やまぞえ未来創生計画会議)・
						数 値	進捗率 (%)	村議会での代表的なご意見
1. 生活•安全		環境学習会参加者数 (学校、サロン等)	人/年	45	72	0	0.0	・水道検診業務等の村移管について、検診と料金の徴収は村へ移管されたが、高齢化や過疎化に伴い施設自体の維持管理についても段階的に村へ移管していくことを検討すべきである。 ・自動車運転免許不更新者の数も把握することで、交通弱者の数を正確に把握し、行政サービスをより向上させることが重要である。 ・シニアカー利用者の増大に伴う道路交通法の遵守にむけた広報を実施すべきである。
		環境監視パトロール実施回数 	回/年	2	3	4	133.3	
		簡易水道管路更新地区数	累計 地区	_	西部地区 80%	西部地区 80%	100.0	
		新たな合併浄化槽設置基数	累計基	_	2	4	200.0	
	(3)道路·交通	コミュニティバス路線数	累計 路線	3	4	3	75.0	
		運転免許返納者への公共交通空白地 有償運送利用券発行件数	件/年	0	20	43	215.0	
		守ロード事業取組大字数	累計 大字	19	20	26	130.0	
	(4)環境衛生	ごみ排出量	t/年	742	675	648	104.2	
		資源ごみ回収量	t/年	132	125	104	83.2	
		一時避難所の設置支援数	累計 力所	3	21	26	123.8	
		防犯カメラの設置台数	累計 台	2	7	28	400.0	
		災害応援協定の締結件数	累計 件	11	14	14	100.0	
		自動車急発進防止装置の設置補助件 数	累計 件	0	20	76	380.0	
		ガードレール設置距離	累計 m	100	167	230	137.7	

施策分野		lie lar	W 11	現状値	目安値	実績値(R3)		外部有識者会議(やまぞえ未来創生計画会議)・
施 策	分野	指標	単位	(H30)	(R3)	数 値	進捗率 (%)	村議会での代表的なご意見
1. 生活•安全	(5)安全·安心	カーブミラー設置数	累計 力所	5	8	15	187.5	
	(6)情報・通信	光ケーブル(高速ブロードバンド)の整備エリア	ı	_	村全域	村全域	100.0	_
		公共施設等へのWi−Fi環境の整備数	累計 力所	_	3	9	300.0	
2. 教育•文化	(1)学校教育	ICT教育の推進(児童・生徒1人につき1 台のタブレットを活用)	_	_	完了	完了	100.0	
		学校ボランティア登録者数	人/年	98	79	64	81.0	
	(2)生涯学習	公民館での「ふれあい講座·教室」参加 者数	人/年	745	748	720	96.3	
		山添ふれあい文化展来場者数	人/年	600	400	0	0.0	
		自然の学校、野外活動事業への参加者 数	人/年	0	200	305	152.5	
	(3)生涯スポーツ	スポーツイベント開催回数	回/年	10	7	3	42.9	_
		スポーツイベント参加者数	人/年	1,250	1,017	505	49.7	
		山添伝統文化こどもフェスティバル及び 山添村文化協会発表会の来場者数	人/年	320	140	63	45.0	
	(5)人権	地区別懇談会の参加人数	人/年	150	117	0	0.0	
		人権研修会の開催回数 ※自庁研修+定住自立圏自治体及び 関係団体が主催する研修の合計	回/年	13	14	0	0.0	

施策分野		指標	単位	現状値 (H30)	目安値 (R3)	実績値(R3)		外部有識者会議(やまぞえ未来創生計画会議)・
						数値	進捗率 (%)	村議会での代表的なご意見
3. 産業・雇用	(1)農林業	集落単位の共同取組耕作面積	累計 ha	3.1	3.3	3.5	106.1	
		農業集落営農組織数	累計 法人	3	4	5	125.0	
		担い手への農地集積面積	累計 ha	45	47	85	180.9	
		森林整備面積	累計 ha	430	478	492	102.9	
	(2)商工業	よろず支援拠点の相談件数	件/年	1	7	5	71.4	
	(3)新規産業	チャレンジショップの使用者数	人•団体 /年	2団体	3	2	66.7	
4. 観光•交流	(1)観光	村内観光客入込客数	人/年	219,196	206,399	155,523	75.4	・空き家対策事業について、業者への委託費に対する空き家利用成約実績を踏まえると十分に費用対効果が発揮されているとは考えづらい。十分な成約件数をKPIとして目標化するか、個人所有物の観点から成果をあげにくいのであれば委託自体を見直すなど検討が必要と考える。 ・ふるさと納税寄附金を給食費の無償化の財源としたことは評価するが、多くの村民は浮いたお金を貯蓄にまわしていると聞く。村民が緩和された支出を村で使えるような施策を打ち出していくべきである。 ・ふるさと納税返礼品の品質管理については既に徹底されていると思うが、今後も入念に管理していくべきである。
		花香房への来訪者数(※直売を除く)	人/年	_	-	0	ı	
		団体旅行誘致促進事業利用回数	回/年	0	7	0	0.0	
		県外における観光キャンペーン数	回/年	3	4	0	0.0	
	(2)交流	かすがが一でんイベントによる交流人口	人/年	261	187	69	36.9	
		空き家バンクへの空き家登録件数	件/年	8	13	5	38.5	
		空き家バンクへの利用登録件数	累計 件	30	83	109	131.3	
		ふるさと応援寄附金額	千円 /年	4,072	18,024	25,703	142.6	
5. 健康•福祉	(1)保健	健康寿命 ※65歳+65歳平均自立期間	歳	男性:81.07 女性:86.03	_	男性:83.67 女性:85.48	_	・胃がんや膵臓がんなどへの早期防止にむけ、住民健診 や特定検診での周知など、より啓発していくべきである。

施策分野		指標	単位	現状値 (H30)	目安値 (R3)	実績値(R3)		外部有識者会議(やまぞえ未来創生計画会議)・
						数 値	進捗率 (%)	村議会での代表的なご意見
5. 健康•福祉	(3)福祉	子育て世代の集いの場開設回数	回/年	23	32	26	81.3	
		サロン実施地区数	大字 /年	22	23	23	100.0	・子育て支援のなかで、園児だけではなく小・中学生も集
		いきいき100歳体操参加人数	人/年	104	112	32	28.6	まって遊べる公園整備を検討していくべきである。
		いきいき100歳体操参加率 ※参加者数/高齢者数(65歳以上)	%	6.4	6.9	2	29.0	
6. 協働・連携	(1)地域内連 携	見守りや情報提供等の応援協定件数	件/年	9	11	11	100.0	
	(2)広域連携	次期定住自立圏共生ビジョンの策定		_	天理市 (令和2年度)	天理市 (令和2年度)	100.0	・伊賀市の火葬場使用における村民利用の割引について は、定住自立圏構想において実現しているが、定住自立圏
					_	_	_	形成協定を締結していない近隣自治体における割引適用 についても検討していくべきである。
		電算システムのクラウド化	累計 件	ı	1	1	100.0	
7. 住民•行政	(1)人ロビジョ ン	国勢調査による人口 (住民基本台帳による人口)	人	3,674 (H27) (3,520) (H30)	3,245	(3,273)	100.9	・今後認定子ども園の建設が予定されていると思うが、夏 築費用を考慮しながら安全安心な施設建築をめざしてほい。
	(2)行財政運 営	押印省略を行う申請等の数	累計件	281	_	281	_	一方で山添村は1人の子どもにかける費用が非常に高額と認識している。これからますます高齢者の人口増加が見込まれ、高齢になってから村から移住される人口が増加しては、1000年にあるという。
		電子申請を行う申請等の数	累計 件	11	_	13	_	ては人口維持が達成できない。行政は高齢者に配慮した 施策についてもしっかり考慮していく必要がある。

[※]注)現状値は計画策定(変更)時における最新の数値を記載しているため、一部指標においては現状値指標が平成30年度のものでないものを含む。

【その他、外部有識者会議(やまぞえ未来創生計画会議)・村議会での全体的なご意見】

- ・村が実施している全ての事業について、今後も結果(費用対効果)を十分検証し、住民に示していくことが重要である。我々のような外部有識者会議等の委員以外の住民のご意見も幅広く聴取する機会を設けていくべきである。
- ・実績値が進捗100%を超えることは良いことであるが、村が直面している課題は山積しているにも関わらず目標値が100%を超えている指標が多いように感じられる。設定している目標値が真に村の課題解決につながっているかを再度見直し、指標の精査に努めるべきである。
- ・未来創生計画自体の住民認知度をもっと高めるべきである。